

鉄筋コンクリート造住宅の内壁工事に新技術

フクビスクリーパーパッキン

(SP-Nタイプ・SP-NSタイプ)



内装仕上げ工事に新技術—乾式アジャスターによる壁面システム
「フクビスクリーパーパッキンウォール工法(SW工法)」

鉄筋コンクリート造住宅の内壁工事にフクビが開発した新技術です。
従来のGLボンド、木レンガ、胴縁にかわる合成樹脂製のパッキン材
(フクビ スクリューパッキン)で、パネルの取付け基材として、
内装工事に新機軸を開く新しい資材です。

SW工法 標準工程

1 躯体

スクリーパッキンの取り付け位置はパネルの寸法より割り出し、約450mm間隔とし、壁面の周囲、および、パネルの突き付け面は1/2間隔(225mm)にしてください。

2 墨出し

スクリーパッキンの割付面にもとづいて墨出しをします。

3 スクリューパッキンの取り付け

●接着剤塗布

スクリーパッキンに「フクビススーパーUダインN」を約10g塗布します。

●取り付け

接着剤を塗布したスクリーパッキンを、割付面にもとづき、躯体に摺動圧着固定します。

4 養生

スクリーパッキンがしっかり固定するまで約1日必要です。その間静置し、その後確実に接着固定されているかをご確認ください。

5 レベル調節

●横列調整

躯体に取り付けられたスクリーパッキンの上部横一列と下部横一列のレベルを指定の基準厚(パネル厚を差し引いたもの)に水系を使って調整します。

●縦列調整

横列の調整が終わったら、上部・下部のスクリーパッキンに、一列ごとに定木を当てるかまたは水系を張って、縦列のレベル調整を行います。

6 壁下地パネルの取り付け

●パネルの切断

寸法に合わせた後、切断します。

●パネルの取り付け

パネルを建込み、パネルの四隅をスクリーパッキンに仮止めしてください。

●パネル面の墨出し

パネルでかくれるスクリーパッキンの位置を確認するため、パネルに墨出しをします。

●パネルの固定(取り付け)

ボード用ビス等でパネルをスクリーパッキンに固定します。

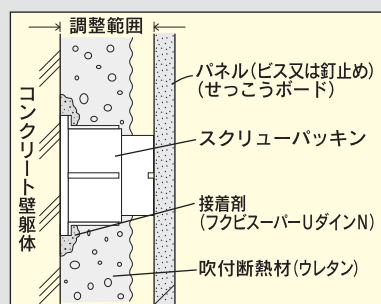
※推奨品 石こうボード用コース φ3.8×25 ステンレス製スクリー釘 φ1.6×25

7 壁下地できあがり

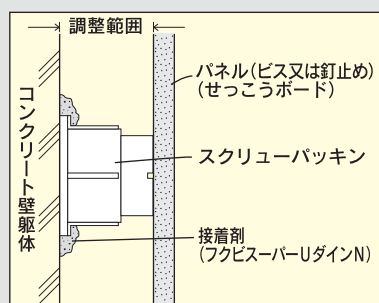
パネルの取り付け作業完了。これでSW工法は完了です。

8 クロス張りや塗装などの化粧仕上げ

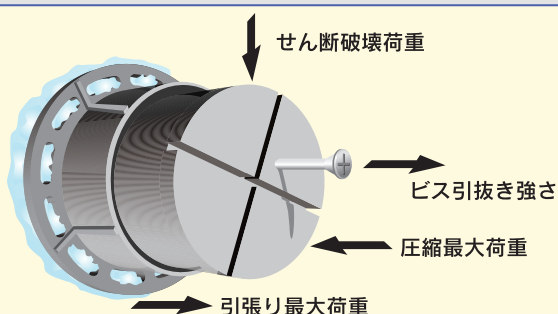
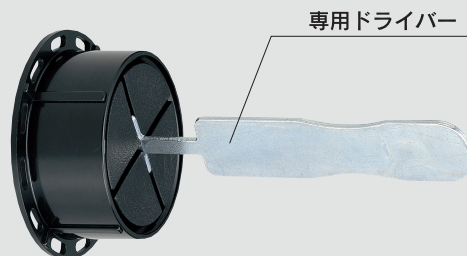
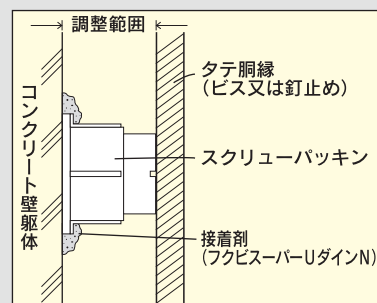
■吹付断熱工法



■乾式工法



■胴縁工法



■各試験項目と性能値

試験項目	フクビススクリーパッキン
ビス引抜き強さ	1260N
圧縮最大荷重	6600N
引張り最大荷重	3330N
せん断破壊荷重	1120N

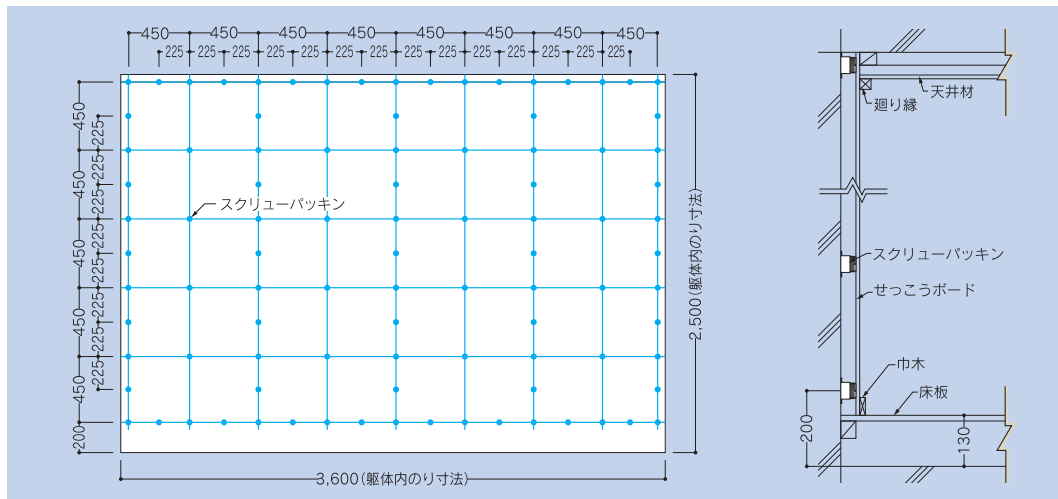
上記試験結果は保証値ではありません。

スクリーパッキン「SW工法」割付例

■SW工法 — A (スクリーパッキンのみの場合)

- スクリーパッキンの取付け間隔は、約450mmとします。但し、壁面の周囲、およびパネルの突き付け面のスクリーパッキン取付け間隔は1/2(約225mm)にしてください。

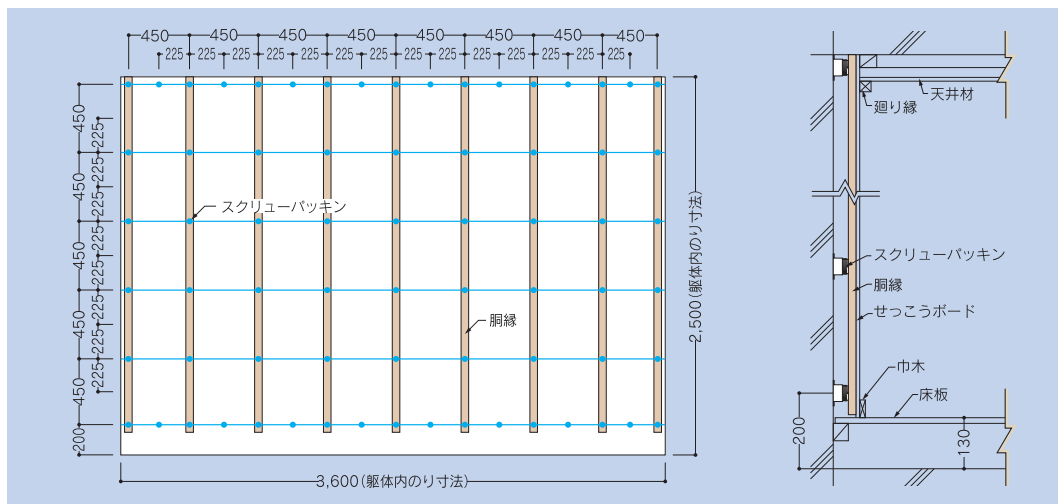
スクリーパッキン
1㎡当たり約12個使用します。



■SW工法 — B (縦胴縁の取付け基材にスクリーパッキンを使用する場合)

- 縦方向に胴縁を使用する場合、スクリーパッキンの取付け間隔は、約450mmとします。但し、上部横一列と下部横一列は、スクリーパッキンを1/2間隔(約225mm)で取付けてください。

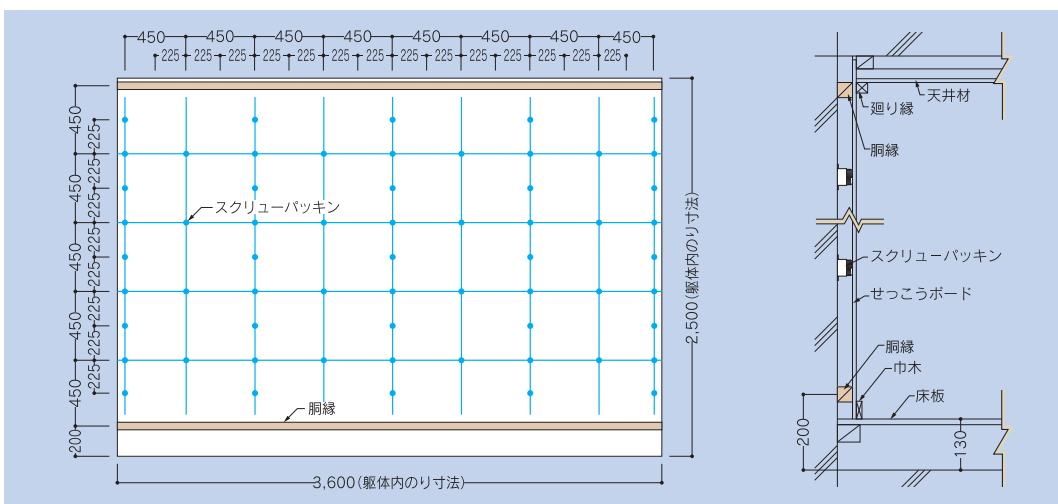
スクリーパッキン
1㎡当たり約9個使用します。



■SW工法 — C (天井と床の納まりに胴縁を使用する場合)

- SW工法—Aのスクリーパッキンの割付けと同様に行ない、上下横一列に、壁の厚さに調整した胴縁を直接躯体に取付けてください。

スクリーパッキン
1㎡当たり約8個使用します。



●掲載の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。●商品色は印刷により実際の色とは異なって見える場合があります。 価格に消費税は含まれていません。



フクビ化学工業株式会社

本社 / 〒918-8585 福井市三十八社町33-66

東京 ☎(03)5742-6301 大阪 ☎(06)6386-6950 名古屋 ☎(052)855-2332

札幌 ☎(011)896-7500

宇都宮 ☎(028)636-3521

神奈川 ☎(03)5742-6301

静岡 ☎(052)855-2332

福岡 ☎(092)471-5800

岩手 ☎(019)673-8254

北関東 ☎(048)661-0400

新潟 ☎(048)661-0400

岡山 ☎(086)232-0601

鹿児島 ☎(092)471-5800

仙台 ☎(022)287-3471

千葉 ☎(03)5742-6301

北陸 ☎(0776)38-8010

広島 ☎(082)246-7211

沖縄 ☎090-1995-2980

2026年8月価格改定版

<https://www.fukuvi.co.jp>

PDF245 2026.08. ㊞